

外国人ドライバーの入国及び海外レースに参戦したドライバーの帰国後の状況について

去る8月1日に発表した「新型コロナウイルス感染症対策に伴う外国人ドライバーの入国及び海外レースに参戦したドライバーの帰国後の対応について」において該当する7選手の状況についてご報告いたしましたが、現時点における状況を改めてご説明いたします。

既にチームから公式アナウンスも出ていますが、タチアナ・カルデロン（スリーボンド・ドラゴロールセ）については、8月13日に入国しSF開幕戦となるもてぎ大会に向けて準備を進めております。残るユーリ・ビップス（チーム・ムゲン）セルジオ・セッテ・カマラ、シャルル・ミレシ（バズレーシング ウィズ ビーマックス）の3選手については未だ入国できずにおり、チーム・ムゲンについては代替ドライバーとして笹原右京の参戦が発表されました。※バズレーシング ウィズ ビーマックスの代替ドライバーは未定です。

また、去る8月15（土）にベルギーで開催された世界耐久選手権に参戦した小林可夢偉（カロツェリア チーム ケーシーエムジー）中嶋一貴（バンテリン チーム トムス）山下健太（コンドールレーシング）の3選手はそれぞれ8月17～18の期間にすでに帰国し、検疫でのPCR検査により陰性結果を受けました。8月29日からはじまるスーパーフォーミュラもてぎ大会への3選手の参加につきましては、関係するあらゆる機関・組織と度重なる協議を続け、さまざまなアドバイスをいただき、発熱などの症状がないことの確認はもちろんのこと、

- ・ソーシャルディスタンスを確保すること
 - ・マスクを着用すること（屋外で他者との間隔が十分確保されている場合や、周囲に人がいない場合は除外）
 - ・手指の消毒または手洗いを実施すること
 - ・接触者の氏名、接触した時間の記録をすること
 - ・会場等への移動は公共の交通機関は使用しないことなどに加え、
- 大会期間中も、
- ・車両施設（キャンピングカー）での待機
 - ・競技運営に関わる全てのリモート化（各種ミーティング）
 - ・イベントへの不参加（表彰式、会見、トークショー等）

など、万全の感染防止対策を施すことで、求められている待機条件と同等の環境が整えられるとみなし、当該大会への参戦を可能とする判断をいたしました。

なお、3選手は大会期間中の行動範囲も厳しく管理されることから、取材協力などにつきましても制限させていただく事となりますが、何卒ご理解の程、お願い申し上げます。

以上